

阿武山小学校の取り組みと学校評価について

早春の候、保護者、地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、年末には学校教育アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。

さて、4月に学校の教育方針を配布させていただきましたが、学校教育自己診断（学校生活アンケート）の結果等を参考にしながら、4月にあげた教育目標が達成できたのかを検証し、学校としての自己評価（学校評価）をまとめましたのでご報告いたします。

今年度は全教科で新学習指導要領に基づいた授業の研究、とりわけ「言葉の力の育成」について研究や家庭学習ノートを用いて自分で計画を立てて学習を進める取り組みを行ってまいりました。また単元指導計画と評価についても研究し、校区で授業改善や数値ではかることができない「非認知の能力」の研究にも取り組んでまいりました。

さらに昨年度、児童・教職員・保護者・地域の皆様にアンケートに協力いただきまとめた校区でめざす子ども像「実力ある大人」について、それぞれの学校園で周知や取り組みを進め、12の項目をより分かりやすいものにブラッシュアップしてまいりました。次年度も、これからの時代に求められる資質・能力について理解を深め、それらを育成するための授業改善、さらには「実力ある大人」への具現化を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます

阿武山中校区のめざす子ども像

「実力ある大人」を育てる

～自分でがんばる みんなでがんばる やり続ける 力の育成～

学校教育目標

学び合い 支え合い 高め合う子どもの育成

～学ぼう つながろう やりぬこう!～

本校のめざす子ども像

将来の自分像を描きながら

- ◇命を大切にする子
- ◇思いやりをもち、自分も人も大切にする子
- ◇自ら学び、自ら考え、正しく行動する子
- ◇目標を持ち、意欲的にがんばり続ける子
- ◇仲間とともに、力を合わせてやり抜く子



本年度の代表的な取組と来年度に向けて

(1) 安全・安心な学校づくり

- 体育の年間指導計画を安全管理・安全指導という観点で見直し、より安全に体育活動ができるように取り組みました。今年度も阿武山中学校区で体育活動の安全について研究を進めるために、中学校区で公開授業や研究会を実施しました。
- 高槻安全ノートを活用し、「地震避難訓練、火災避難訓練、不審者対応訓練」をただ行うだけではなく、災害時にどう行動したらよいかなどについて、クラスで考えたり、話し合ったりすることで、危険予測、回避できる力の育成に努めてまいりました。また高槻警察の方を講師として招聘し、学校安全についての研修会や実地訓練を行いました。
- 緊急時における迅速な対応のための教職員研修をより実践に近いものにするために、実地訓練後のふりかえりを時間をかけ丁寧に行いました。
- 授業で使用する教材・用具、施設・設備など日常の安全点検を実施しました。
- 近年、自然災害が多く発生していますが、その情報をもとに、危機管理マニュアルを見直し、より実効性のあるものに変更しています。今後も訓練を行い事例と対応しながら危機管理マニュアルをアップデートしてまいります。



来年度も、引き渡し訓練を早期に実施し、子どもたちの安心安全を保障してまいります。また実践的な避難訓練や実地訓練を行い、教職員や児童が自分事として安全について考える取り組みを引き続き行ってまいります。

学校教育自己診断アンケートの結果より 「とてもそう思う」「そう思う」割合

	児童(%)	保護者(%)
●学校は、子どもや保護者に安全や災害の対応について知らせている。	99	97

(2) 確かな学力の育成(知)

- 「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりに向けて、単元ごとの指導計画・評価計画を作成し、単元のねらいを明確にした授業づくりに取り組みました。
- タブレットパソコンを使って、資料を提示したり、自分の考えを書き込みクラスで共有したりしながら、わかりやすい授業をめざしました。
- 英語学習教材「DREAM」を低学年で実施、4年生以上は英語の専科とALTの授業を行い、グローバルな視点での学びを行いました。
- 特別支援コーディネーターを中心に、ユニバーサルデザインや一人一人の教育的ニーズに応じた指導方法や授業づくりについて研修し理解を深めました。また学校として統一した掲示方法や授業のユニバーサルデザインに取り組みました。
- 阿武山中校区で、各校の授業研究の内容や成果についての交流をしました。また今年度は中学校区で公開研究授業を行って、9年間を見通した学びの連続性について研究を進めました。
- 総合的な学習の時間を系統立て、子どもたちが主体的に取り組めるように充実を図りました。各学年とも地域や世界の問題を自分事として考える内容に取り組みました。
- 家庭学習ノートの取り組みにより、自分で計画を立てて学習を進めることができる児童が増えました。
- 「言葉の宝箱」を使う取り組みを児童集会などで紹介し、文づくりを通して語彙を増やす取り組みを行いました。
- 図書教育では楽しく本に触れる取り組みを進めました。(バーコード宝くじ、しおりコンテストなど)



来年度も学習指導要領に基づいた「わかりやすい授業」「児童が主体的に取り組む授業」をめざして研究を進めてまいります。また特別支援教育では、引き続きどの子どもも安心して過ごせる教育環境づくりをめざして取り組んでまいります。またコミュニティスクールがスタートしますので、より地域と連携した探究的な総合学習に取り組んでまいります。

「宿題や、道具などを忘れずに持ってきている」という項目において昨年度よりも肯定的な意見が少し増加しました。授業の道具がそろっていることは授業に向かう姿勢や、授業内容の理解を後押しするために欠かせません。今後も忘れ物のないように、ご家庭からのご支援をよろしくお願いいたします。

学校教育自己診断アンケートの結果より「とてもそう思う」「そう思う」割合

	児童(%)	保護者(%)
●子どもは「授業がわかりやすく楽しい」と言っている。	92	84
●先生は教え方を工夫している。	93	96
●通知表の(あゆみ)のつけ方は、納得できる。	96	94
●子どもは「授業でわからないことについて先生に聞きやすい」と言っている。	87	80
●子どもは総合的な学習に満足している。	84	95
●先生は、子どもが努力したことをほめてくれる。	96	95
●宿題や道具などを忘れずに持ってきている。	76	88
●授業に意欲的に取り組んでいる。	81	

(3) 豊かな心の育成(徳)

○阿武山中学校区の目指す子ども像「実力ある大人」についての具体像についてまとめた12の項目を今年度は校区でベクトルをそろえ、子どもたちの育ちにつなげる取り組みを行いました。

○豊かな心の育成のために、学級活動を中心とした「児童会活動」や「縦割り活動」では異学年集団で様々な行事に取り組んでみました。また委員会活動やクラブ活動では地域のボランティアの方々に関わっていただき充実をはかりました。

○道徳推進教師を中心に、道徳科の授業について研究を深めました。

○今年度は、「運動会」「阿武山フェスティバル」など異学年の交流を積極的に行いました。人と人とがふれあうことで情緒面を育て、心の成長につなげていくことを大切にする取り組みを行いました。来年度も引き続き行ってまいります。

【学校におけるいじめ防止等の対策について】

○いじめの早期発見に向け、年3回の意識調査を実施し、すべての児童と個別面談を実施しました。「いじめ」を広くとらえ、積極的に認知するとともに、一定の期間経過後、確認を行いました。

○教育相談にはスクールカウンセラー(SC)も積極的に活用しました。また、定期的にいじめ・不登校対策委員会を開催し、児童の状況把握と対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関とも連携を図りながら、対応を検討しました。またケース会議を行い、問題の解決に向け組織的に取り組みました。

○アンケート結果からは、下記の多くの項目で満足できる割合が90%を超えていました。特に「先生は子どもが悪いことをした時には注意してくれる」や「先生は相談した時に話を聞いてくれる」の項目では、かなり高い肯定的評価が見られました。子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境づくりを大切にしておりますが、今後も一人ひとりの子どもたちの困りごとに寄り添い、学校が安心安全な場所となれるよう努めてまいります。

○様々な方に学校に来ていただき、出前授業や体験学習を通してキャリア教育の充実を図り、自分の生き方や将来について考える機会を増やしました。

➡ 来年度は校区のめざす12の姿を分かりやすく改訂し、それらを具現化するための取り組みを地域と共に進めていきます。人と人がふれあうことで情緒面を育て、心の成長につなげていくことを大切にする取り組みを引き続き行ってまいります。 さらにいじめ防止の対策や不登校の対策は喫緊の課題として教職員全体でとらえ、初期段階での組織的な対応や様々な機関と連携して、子どもを中心としたアセスメントが行えるように取り組んでまいります。 さらに来年度はCS（コミュニティスクール）が本格実施になることもあり、地域の方から将来について学ぶキャリア教育の取り組みも進めてまいりたいと思います。		
学校教育自己診断アンケートの結果より 「とてもそう思う」「そう思う」割合		
	児童(%)	保護者(%)
●子どもは学校生活が楽しいと感じている。	93	93
●学校行事はみんなが楽しくおこなえるよう工夫してある。	95	98
●学校では、お互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がある。	96	94
●先生は、子どもがわるいことをしたときは注意してくれる。	99	98
●先生は、相談したときに話を聞いてくれる。	97	96
●先生は、「いじめ」などで困ったときに、真剣に対応してくれる。	98	
●学校では「いじめ」防止について考える機会がある。	94	90
●学校では、自分の生き方や将来について考える機会がある。	91	87
●学校では、命の大切さ・社会のルール・マナーについて学ぶ機会がある。	98	96

(4) 健やかな体の育成(体)		
○今年度のアンケートの結果から「給食を好き嫌いなく食べている」という項目において、肯定的意見の割合が増加しました。給食調理員さんとの連携や給食について学ぶ機会を増やした結果だと考えられます。 ○健康管理や体力づくりの項目は、肯定的な回答が増加しました。阿武山リズムジャンプや縄跳びなど体力づくり運動を学校全体で取り組んだ結果と考えています。 ➡ 来年度も教育課程の中に食の大切さを学べる機会を増やし、食育の充実や食品ロスの問題についての取り組みを進めていきたいです。今後も、食育の推進、体力の向上、心身の健康保持増進、安全指導等について、各教科の特質に応じて適切に実践していくよう努めます。		
学校教育自己診断アンケートの結果より 「とてもそう思う」「そう思う」割合		
	児童(%)	保護者(%)
●学校では健康管理や体力づくりに取り組んでいる。	94	89
●給食を好き嫌いなく食べている。	94	92

(5) 学校力・家庭力の向上		
○参観や懇談、家庭訪問など保護者の皆様と情報を共有・交換させていただく機会を設けてまいりました。また学校だよりや学校 HP を通して、学校の取り組みを発信してまいりました。 ○阿武山中学校区で小中一貫会議を定期的に行い、オンラインも活用しながら、各部の交流や合同研修会等を実施しました。		

○家庭学習の充実の取り組みとして「家庭学習週間」を定め、中学校区で取り組みを行いました。また家庭学習週間や家庭学習ノートのことを保護者説明会で発信し、家庭と連携した取り組みを行ってまいりました。

○セーフティボランティアさんをはじめ、地域・保護者の方に、クラブ活動支援、教科活動の支援など、様々なご協力をいただきました。



来年度も子どもを真ん中におき、成長を促す取り組みを、保護者の方々と引き続き協力しながら進めてまいります。来年度はさらに家庭と連携しながら、内容面で家庭学習の充実の取り組みを進めていく予定です。

学校教育自己診断アンケートの結果より 「とても思う」「思う」割合

※保護者のみの項目です	保護者(%)
●学校は、教育方針や教育活動についてわかりやすく伝えている。	94
●学校は保護者が授業参観や行事に参加する機会を設けている。	98
●学校行事は、みんなが楽しくおこなえるように工夫してある。	98

(6) 学校評議員の皆様から

- ・安全・安心の取り組みをこれからも引き続き行い、今後も市内に発信してほしい。
- ・防災については地域と連携し、学校と地域がともにできることを進めてほしい。
- ・今後もSCやSSWをうまく活用し、学校におけるいじめや不登校などの様々な課題に取り組んでほしい。
- ・「授業がわかりやすい」の肯定的評価と「意欲的に授業に参加している」の肯定的評価に差があるので、今後その改善に取り組んでほしい。
- ・「将来について考える機会がある」という肯定的意見を向上する取り組みを、コミュニティスクールを活用しながら進めてほしい。
- ・「体力づくり」についての肯定的評価が児童と保護者に差がみられる。体力づくりの取り組みに対する啓発が必要だと考えられる。
- ・児童が司会をして活躍する場や発表をする場などはとても大切な経験。今の取り組みを今後も進めてほしい。

